

# 事業のポイント



**令和3年度：鹿児島県受入れ 対象人数112名／事業参加応募締切：毎月15日**

- 参加申請書提出→審査→結果通知のプロセスが発生します。
- 通過事業者の求人が労働局に登録され次第、随時選考プロセスに入っていきます。

## 1 新在留資格「特定技能」を活用し、外国人材の受入れができます

- ✓ 外国人材の受入経験に関らず、特定技能での外国人材を受け入れる機会が得られます
- ✓ また、本事業を活用することで、**採用にかかる費用を一部抑える**ことができます

※本事業の対象事業者になるには、事前の申請・審査を経ていただく必要性がございます。

### ▼特定技能の特徴

	語学力	来日時の技能試験	受け入れ人数	受入対象法人要件	転職	一人夜勤	在留可能年数	職員算定
特定技能	JLPTN4 又は JFT合格+介護専門用語	CBT技能試験 (介護の基本、こころとからだのしくみ、コミュニケーション技術、生活支援技術)	事業所単位で日本人等の常勤の介護職員の総数を超えない	特になし(受入の際に順守すべき規定はあり)	可能 (フィリピン人の場合は転職先がフィリピン政府へ登録済みであることが必要)	可 (※6カ月程度の業務順応が必要)	最大5年	業務開始日より算定

## 2 行政や労働局と連携した受入れ・定着支援を受けることができます。

- ✓ モデル地域の都道府県労働局と連携し、外国人材の受入れに向けた施策を実施します。
- ✓ 詳細については、別途事務局となるパーソルキャリア(株)よりご案内いたします。

# ① (参考) 受入対象国について

## ▼インドネシア



### 主な宗教

イスラム教

国民の87%がイスラム教、9%がキリスト教 (※1)

### 海外労働者数

日本への  
就労伸長率は3位

ベトナム、フィリピンを抜いて増加が堅調 (※2)

### 教育水準

識字率99.6%  
と高い水準

(※3)

### 平均賃金

平均年収  
日本円約40万円

### 文化

日本人に対し友好的。  
世界第4位の人口もあり、多様性を尊重している。

### 言語力

公用語は  
インドネシア語。  
英語能力も  
日本と同等程度。

## インドネシア看護師・介護福祉士候補者の受入れ状況 (令和元年10月時点)

受入れ人数：338名 累計：2,783名

平成20年度からインドネシア人看護師・介護福祉士候補者の受入れが開始されました。

出典：厚生労働省インドネシア人看護師・介護福祉士候補者の受入れについて

(出典1) 外務省ホームページ (出典2) JETROホームページ (出典3) 世界銀行 2015年

## ▼フィリピン



### 主な宗教

キリスト教

国民の93%がキリスト教、5%がイスラム教 (※1)

### 海外労働者数

世界最大の  
労働力輸出国

約1,000万人(国民の10人に1人)が海外に居住 (※2)

### 教育水準

識字率98.2%  
と高い水準

(※3)

### 平均賃金

365USD/月  
=40,150円程度  
非製造業  
スタッフクラス平均

### 文化

ラテン気質で、  
明るく社交的な性格。  
ホスピタリティも高く、  
サービス業従事者も多い。

### 言語力

日本の漫画やアニメの  
人気も高く、  
フィリピン人の日本語は  
比較的聞き取りやすい。

## フィリピン看護師・介護福祉士候補者の受入れ状況 (令和元年10月時点)

受入れ人数：327名 累計：2,592名

日・フィリピン経済連携協定には、病院又は介護施設で就労・研修を行って看護師・介護福祉士試験に合格して看護師・介護福祉士資格の取得を目指すコース(就労コース)が設けられています。

出典：厚生労働省フィリピン人看護師・介護福祉士候補者の受入れについて

(出典1) 外務省ホームページ (出典2) JETROホームページ (出典3) 世界銀行 2015年

## ② 定着支援に向けてのポイント ※内容は企業、地域と協議の上、変更の可能性があります。

1、法人向け：来日の後の外国人材の定着に向けて、入国前後で各支援を実施していきます。

段階		内容／参考
入国前	受入環境整備支援	住居等の生活環境整備支援など
		定着計画策定支援(教育担当者配置／同僚との交流機会の創出／母国語での相談窓口の設置など)
		異文化理解研修／異文化理解をふまえた受入体制作り研修など
		内定者との定期面談／相互理解、コミュニケーションを深める・内定者の日本語力の維持も図るなど
入国準備支援	住居確保・生活に必要な契約支援など	
入国時	入国時支援	出入国時の送迎／生活オリエンテーション(日本の生活の上で必要な説明)／公的手続等への同行など
入国後	入国後定着支援	母国語の相談窓口の提供／継続語学訓練の提供／生活環境の改善サポート／事業所同士の定着施策の共有など
		相談・苦情への対応／日本人との交流促進／定期面談・行政機関への通報など

2、地域向け：外国人材が少ない地域での採用は地域住民の不安などを払拭するため、相互理解と共存を深められる取組を3段階に分けて実施していきます。

ステップ	内容／参考
1. 「認知」を広げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 地域広報誌への情報掲載</li> <li>◎ 来日時に地域の拠点への表敬訪問</li> </ul>
2. 「理解」を広げる	◎ 相互理解の場づくり：・相互の文化発表会　・語学交流会　・日本語スピーチコンテスト　など
3. 「協働」する	◎ 地域参加の場づくり：・地域ボランティアへの参加　・地域イベント運営への参加 ・外国人が住みやすい環境づくりなどの提案の場の設置　など

## ▼その他、事業の説明ページをご確認ください▼

厚生労働省「地域外国人材受入れ・定着モデル事業」のご案内HP

<https://wijc.mhlw.go.jp/ja/index.html> ※「wijc」で検索してください。

## ▼さらに、もっと詳しく情報を確認されたい場合は▼

オンラインセミナー もしくは 個別説明に御申込ください

✉ [pca-cgut-kgsm@persol.co.jp](mailto:pca-cgut-kgsm@persol.co.jp)

【メールでのお問合せの場合】  
法人名／施設名／ご担当者様役職・氏名／連絡先(電話番号・メールアドレス)／  
希望日(セミナーはリーフレットをご参照ください)／外国人材雇用の有無  
など、ご記入の上御申込をお願いいたします。



☎ **080 - 1727 - 2252** (担当：小島 月～金／9:30～18:00)

## ▼その他、事業の目的など▼

厚生労働省のリリースもご参考ください

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_14395.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14395.html)

鹿児島県庁のリリースもご参考ください

<http://www.pref.kagoshima.jp/af21/sangyo-rodo/syoko/tokuteiginoumodel.html>